

尾奈学校だより (尾奈小版)

R7.7月号



尾奈小

為すことによって学ぶ

気温が30度を超える気候となり、プールからは、子供たちの元気な声が響いてきます。授業では、はじめから勢いよく水に顔をつけて楽しむ子もいますし、恐る恐る水面に顔を近づけて息を止めてもぐろうとする子もいます。しかし、どの子も回を重ねるごとに、だんだん慣れてくると、プールの中でできることが増えてきて、自分の目標に向かって頑張ろうとする姿が見られています。安全に、全力で楽しんで(学んで)ほしいと思います。



1・2年生のプールでの様子

さて、1学期も残りわずかとなり、1年生は、算数の「いくつといくつ」で自分が覚えた数字「10は1と9、2と8…」を聞いてほしいという思いで、職員室や校長室にやってきます。いろいろな人に聞いてもらう(アウトプットする)ことは記憶の定着にもつながりますから、御家庭でも、子供が「聞いて」と来たら、ぜひ手を止めて聞いてあげてください。そんな日常の中に学びがあります。

PTA 主催のドッジボール大会に大興奮!

6月18日(水)、授業参観日でしたが、PTAの方がドッジボール大会を企画してくださり、皆で体育館につどいました。親子混ざってのドッジボールは、和気あいあいとした中にも速い球にドキドキする場面も見られ、皆で楽しい時間を過ごしました。楽しい企画をありがとうございました。



赤と白に分かれて、痛くないボールでみんなで楽しみました。PTAの皆さん、ありがとうございました。

教えて先輩!あんなこと、こんなこと

6月20日(金)に3・4年生が、上尾奈の井戸ばたサロンに参加し、一緒に手話をしたり、ゲームをしたりして楽しみました。子供たちは、ゲームで「がんばれ!」と参加された方に声を掛けたり、逆に「校歌を歌ってほしい」と言われて元気に歌ったりと素敵な時間を過ごすことができました。



ふだんのくらしのしあわせを感じて

3・4年生は、今年は福祉について学んでいます。6月27日（金）に天竜厚生会の方（ご自分も車いすで生活している方）がみえて、自分の生活の様子や感じていることなどをお話してくださいました。一人ではできないこともあるけれど、できることは自分でやっていると聞き、いろいろなことを質問しながら、車いすでの生活についての理解を深めました。その後、車いす体験も行い、学校で不便を感じる箇所や自分が気を付けたいことなどを伝え合っていました。

10日（火）には、福祉センターにも見学に行き、施設内のユニバーサルデザインを確認しながら、福祉の考え方を学びました。



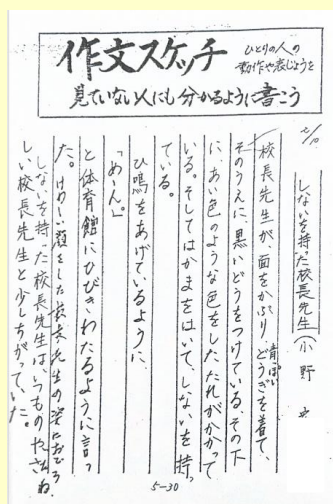
操作は思ったよりも難しく、道に段差や不要物があると大変だと分かりました。車いすの藤田さんはとても明るかったです。

本田技研細江工場と博物館の見学に！

6月27日（金）に5・6年生は、校外学習で気賀にある本田技研細江工場の見学に行きました。船のエンジンを作るラインを見学させてもらったり、実際に船に乗って浜名湖を遊覧したりするなど、よい体験ができました。博物館では、展示物や蜆塚遺跡の説明を詳しく聴くことができました。社会科の学習に生かすことができそうです。



尾奈の歴史 70th



昭和末期あたりから始まった作文スケッチ。在校期間に書いた覚えはありますか？

国語科教育の一環として、この作文スケッチで自分の見たものの感じたことを、絵と文で表現する力を培いました。その伝統が今も続いています。

この作文は昭和62年に書かれたものです。

校長のひとりごと

今の社会では、インターネットやSNSから多くの情報が手に入りますが、中には間違った情報もあります。子供たちには、自分にとって本当に必要な情報を見分ける力が大切です。（私たち大人も同じかもしれません。）

それと、同時に人とのかかわりや実際の体験を通して得られる【気づき】も欠かせません。画面の中だけにとどまらず、【為すことによって学ぶ】姿勢を育てていくことも、これからの時代に必要だと感じています。そのために、学校や家庭、地域を含むさまざまなつながりの中で、子供の学ぶ環境を整えていきたいと考えます。

お知らせ 西校舎に 70周年記念ルームを設置しています。ただ今更新中ですが、昔の写真等ありますので、ぜひお立ち寄りください。